

パシヤリ。広大



1/1000サイズの東広島キャンパス模型(総合博物館)

緑に囲まれた自然豊かな東広島キャンパス。実は、総合博物館本館に展示中のミニチュア模型です。キャンパスの全貌を1000分の1スケールで俯瞰することができ、建物や植栽のほか、路線バス、駐車場の車などが、細部にわたって作り込まれています。広島大学を知る上で欠かせない、人気の展示です。(2006年製作)



100年後にも世界で光り輝く大学へ
広島大学



編集・発行：広島大学 財務・総務室 広報部 広報グループ
〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL:082-424-4383 FAX:082-424-6040
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp
<https://www.hiroshima-u.ac.jp>



HU-plus

May 2020 05

広島大学広報誌 vol.12
Hiroshima University Magazine



「学長対談」
志を持つことがモチベーションになる。
俳優・画家
片岡 鶴太郎氏 × 越智 光夫
広島大学学長



【特集】

広大×スポーツ
伝統を未来へ

未来に向かって開かれた大学改革

学長に就任して5年になりました。昨年度、国から各国立大学に交付される運営費交付金の「成果を中心とする実績状況に基づく配分」（総額850億円）では、残念ながら厳しい評価を受けました。

この評価は、大学のマネジメントに加え、教育研究による共通指標が基準とされています。各領域における構成員の皆さんの大変な頑張りは、私もよく理解しており、大変感謝しております。

私事ながら、身内が大学病院に入院していたため、仕事の後、毎晩病室を訪れ、久しぶりに患者さんのために全力を尽くしている医療スタッフの皆さんの姿に触れました。近年、国立大学の収支の中で大学病院の収入の占めるウエートは極めて大きくなっています。その状況の中で広島大学病院は医薬品および医療機器の納入価格の見直しなどにより極めて高い黒字を維持していますが、評価の対象にはなっていません。

今年度は、より良い評価を得られるよう実績作りに取り組んでいく必要があるとはいえ、評価の「物差し」は一つではなく、多種多様であることもまた確かです。単一の物差しだけであれば、大きい小さいかの違いはあっても「金太郎あめ」しか生まれません。大学にはそれぞれの地域における特有の文化、歴史、特徴があります。一つの評価法に縛られない、むしろそれを乗り越えるような壮大な取り組みこそが未来の教育のために不可欠だと考えています。

今は評価の対象になっていない大学改革や投資が必須であると考えて、この5年間、広島大学が進むべき方向性を皆で探り、グローバル化へと大きくかじを切ってきました。

広島大学では大学院改革も成し遂げ、東広島市のご支援もいただきながら、東広島キャンパスに「国際交流拠点施設」を建設いたします。2016年度から毎年、研究インターンとしてハーバード大学やシカゴ大学の学生を10人規模で受け入れており、今年度はマサチューセッツ工科大学(MIT)からも受け入れ開始の予定です。また、今年初めてエジプトからは73人の医学生が霞キャンパスで講義や実習に参加しました。

昨年、日本経済新聞社などが実施した「企業の人事担当者から見た大学イメージ調査」で、広島大学は「対人力」全国1位、「行動力」3位の高い評価をいただきました。このような民間からの評価には勇気づけられます。

大学改革は未来に向かって開かれたものでなければなりません。現在の足元を見つめつつも、未来の日本を見据えた針路を示せるかが問われています。10年後、大きく成長した広島大学を見るのを楽しみに、大学の総力を結集し、構成員の皆さんと力を合わせて歩みを進めていきたいと願っています。

越智 光夫

The door of HU reform needs to be left open for the future

It has been five years since I was appointed as the President of Hiroshima University (HU). Unfortunately, HU in the last academic year received a disappointing notification regarding "Management Expenses Grant" (the total budget amount of 8.5 billion yen) in which varying amounts are awarded to National University Corporations, due to a harsh evaluation of HU's current performance.

The evaluation is based on various criteria, including management performance of each university, as well as the common indicators for research and education performance. As always, I am fully aware of the great contributions made by all members of HU and I am very grateful to them. Please allow me to relate a personal anecdote. There was a time during the past year when I was making frequent visits to the local university hospital every evening after work to see a family member who was hospitalized there. It had been a long time since I was in the situation to witness how committed hospital/medical staff are to the care of patients. Nowadays, an extremely large proportion of the total revenue of Japan's national universities comes from university hospitals. Amid such circumstances, Hiroshima University Hospital has been able to stay in the black for a long time by reviewing the price lists of medical drugs and devices set by its suppliers. However, such pleasing performance has not been taken into account in the above-mentioned evaluation.

On the one hand, it is necessary for HU to continue making further efforts for a better track record so as to secure better evaluation scores in this academic year. On the other hand, it cannot be denied that there are different types of "indicators", not just one, for evaluating the performance of a given university. If we were to be stuck with a single indicator for the evaluation, all the national universities in Japan would end up looking like "peas in a pod (with only differences among them to be their varying sizes)". Each university has its own distinctive culture, history, and characteristics based on its location. In this sense, HU should not be bound by a single evaluation indicator. Rather, I think that it is essential for the future of the university's education to ambitiously tackle this issue by attempting to go beyond the existing set criteria.

Bearing in mind the fact that reform and investment are essential aspects that are not part of the grant's performance evaluation, we have been exploring a new direction for HU. This has led us to steer into the waters of globalization.

Reform of the Graduate Schools at HU is now complete. With financial support from Higashi-Hiroshima city, the "International Exchange Building" is to be established in the future. Since 2016, HU has received 10 students as research interns from overseas universities including Harvard University and the University of Chicago. From this academic year onwards, HU is expecting to receive some students from MIT in the U.S.A. In addition, early this year the university received 73 medical students from universities in Egypt, attending lectures and training sessions on the Kasumi campus.

Last year, Hiroshima University ranked in 1st place for "Interpersonal communication skills" and in 3rd place for an "ability to take action" in the "Brand image ranking survey of universities in Japan", which was organized by some Japanese companies such as Nihon Keizai Shimbun Inc. The questionnaire surveyed the staff at personnel management offices from various companies in Japan. It is very encouraging for us to see HU having received such positive evaluations from private companies in Japan.

The door of university reform needs to be left open for the future. HU is being asked whether or not it is capable of steering into the right direction by anticipating the future direction of Japan. With all the members of HU united as one, I am hoping to see our university move forward step by step, with much progression over the next ten years.

Hiroyuki Yoshida



Hiroshima University Magazine
広島大学広報誌 HU-plus(エイチュー・プラス) vol.12

【Hiroshima University】の魅力や情報をあなたに「プラス(+)", 【HU】とあなたが「つながる(+)"という願いを込めて。

 広島大学に誕生したマスコットキャラクター「ひろティー」が初登場！スポーツ特集にちなんで、ユニフォーム姿で駆け付けてくれました。背後に羽ばたくのは、広島大学オリジナルの「フェニックスマーク」です。

 **フェニックスマーク：**
広島大学のシンボル、「フェニックス」をモチーフにしたマーク。フェニックスの葉が、困難を乗り越えて大きく育ち、不死鳥のように大空へ羽ばたく様子を表現。

 **マスコットキャラクター「ひろティー」：**
フェニックスマークに親しみを持っていただくため、フェニックスをキャラクター化。名前は広島大学の「ひろ」とUniversityの「ティー」を合わせて「ひろティー」。

デザイン：カミガキ ヒロフミ氏
有限会社IC4DESIGN代表。広島を拠点に、国内外で活動。The New York Times Magazine表紙、国連UN Womenキャンペーンイラスト、絵本「迷路探偵ピエール」シリーズなどを手掛ける。



CONTENTS

- 01 散詩語録
- 03 学長対談
俳優・画家 片岡 鶴太郎氏×
広島大学学長 越智 光夫
- 07 特集 広大×スポーツ 伝統を未来へ
- 11 学問の探求 特別版
小林 芳規 名誉教授
- 13 AERAが書く、研究者の素顔
島田 昌之 教授 大学院統合生命科学研究所
- 15 チーム広大潜入REPORT
ヴェサベルトコルビ 研究室 大学院人間社会科学研究科
齋藤 祐見子 研究室 大学院統合生命科学研究所
- 17 ぶちおもしろい広大講義
vol.4 日本工芸史学応用研究
- 18 世界へのまなざし
柳 千晶 さん 法学部 / Ahmed Mahmoud Amer さん 文学部
- 19 学生レポ! 私も広大です
山崎 幸枝 さん 株式会社petapeta 代表取締役
武田 正文 さん 浄土真宗本願寺派 高善寺 副住職
- 21 キャンパスNOW
広大生が集う憩いの場
- 22 HIRO-DAI HEROES
黒島 健介 さん 大学院理学研究科 / 川村 優佳 さん 総合科学部
- 23 HU-style
vol.12 広大生の「衣」に迫る!
- 25 HU TOPICS
- 27 つながる!ひろがる!ひろしまの輪
大学院医科学研究科 田原 栄俊 研究室×株式会社ミルテル/総合博物館
- 28 Reader's View/読者プレゼント
- 29 広島大学への寄附・基金



俳優・画家
片岡 鶴太郎

かたおか・つるたろう / 1954年生まれ。東京都荒川区西日暮里出身。都立竹台高校卒業後、当時声帯模写で人気の芸人、片岡鶴八師匠に弟子入り。3年後には独り立ちし、東宝名人会、浅草演芸場に出演。その後、テレビのバラエティ番組で活躍するほか、俳優・プロボクサー・画家・書家・ヨガマスターとして幅広く活躍する。

「興味」は天からのギフト。
活路が見える瞬間まで、
信じ続ける。

芸人・俳優・画家…片岡鶴太郎氏と語る

お笑い芸人になりたい

越智：多方面で活躍されている片岡さんに、そのエネルギーの源泉を伺っていきたいと思います。まず、子ども時代はどのように過ごされましたか？

片岡：東京の日暮里で育ったのですが、父親が寄席好きだったので、浅草や上野の演芸場に週に一回は連れていかれました。子どもに落語は難しかったのですが、その合間に披露される漫才やコント・物まねにはとても興味を持ちました。

越智：片岡さんが芸の道に入ったきっかけは寄席だったんですね。

片岡：そうですね。笑いを提供してくれる人たちを見て、「人を笑わせるってかっこいいな」と憧れました。小学4年の頃には、将来はお笑い芸人になりたいと思っていましたね。「自分も人を笑わせたい」と、休み時間にはよく先生の物まねをしていました。パリエーションを増やし、クオリティを上げようと人間観察にも精を出しましたよ。

中学3年で初めて感じた焦り

越智：子ども時代から現在に至るまで変わらないと強く感じることはありますか。

片岡：「これをやってみよう」ということがあれば、子どものころからちゅうちょしませんでしたね。その姿勢は、現在のお笑いや俳優、プロボクサーなどの幅広い活動につながっていると感じています。

越智：思い立ったらすぐ行動に移されるのは、誰かの影響でしょうか。

片岡：いえ、自発的というか。両親は「本人が『やらなきゃ』と思うことが大切」という考え方だったので、勉強でもそれ以外でも強制されたことはありませんでした。

越智：それでは、自発的に勉強を？



小学5年の時、東京荒川少年少女合唱隊の仲間と
(前列左端が片岡氏)

やれどできる、という自信

越智：そこから心機一転、勉強熱心になられたのですか？

片岡：何とかしないとイケないとは思ったものの、中学3年の教科書を見ても全然理解できませんでした。授業中は先生の癖ばかり見ていましたから(笑)。ところがある気付きをきっかけに、勉強とは快感を得られるものだと思えて実感できたのです。夏休みにどのレベルなら分かるのか学年をさかのぼって見直してみたところ、小学5年の内容は分かったんですよ。そこで、小学5年から中学3年までの問題集を買って、順を追って



「流れのままに」と題して講演を行う片岡氏

勉強しました。すると、苦手だった数学がだんだん解けるようになっていったのです。今まで味わったことがない、「魂が欢喜する」とでも表現すべき快感でしたね。夕方の4時から明け方の4時まで、気付けば12時間ノンストップで勉強していることもありました。

越智：自分で答えを導き出す、勉強の本当の

広島大学 学長
越智 光夫

おち・みつお / 1952年生まれ。愛媛県今治市出身。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局。1995年島根医科大学教授に就任。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。2007年～2011年まで広島大学病院長。2015年から現職。

志を持つことがモチベーションになる。

俳優・画家

広島大学 学長

片岡 鶴太郎氏 × 越智 光夫

2019年第13回広島大学ホームカミングデーにゲストスピーカーとして来学いただいた片岡鶴太郎氏と越智学長が対談。魂の赴くままに、飽くなき挑戦を続ける思いの丈を語っていただきました。



「流れ」に導かれた先での努力が
今の自分につながった。



楽しさに気付かれたのですね。私も中学時代に成績が大幅に下がり焦った時、自分で「勉強しよう」と決意する大切さを感じました。

片岡：勉強は自分の生活から離れたものではなく、直結するものだと分かると面白いですよ。

越智：まったくその通りです。片岡さんが勉学にひたむきになれた原動力は何だったのでしょうか。

片岡：芸人になりたいという「志」ですね。自分がやりたいもの、好きなものをしっかり持つことがモチベーションになると感じます。

越智：その後、勉強の成果は表れましたか。

片岡：最終的には復習だけでなく、中学3年の2学期分まで予習し、休み明けの抜き打ちテストでは3教科・90点満点中85点。先生が「お前、バカじゃないよ。すごいな」と心から褒めてくださったことが今でも印象に残っています。この時に感じた「俺ってやればできるのか」という体験が、その後の人生の核になっています。

越智：そして、無事に第一志望の都立高校に進学されたのですね。

片岡：有名人も出ている都立竹台高校に合格できて、うれしかったですね。

好きで選んだことの苦労は楽しい

越智：高校卒業後、お笑い以外の道に進むことは考えなかったのでしょうか。

片岡：全く考えませんでした。お笑い以外にないと思っていましたね。

越智：修業時代に苦労されたことは？

片岡：もう、苦労しかありませんでした(笑)。それでも自分が好きで選んだ道です

から、楽しくてしょうがなかったですね。一番大変だったのは「弟子入り」の時。実は、初めての師である片岡鶴八師匠に付く前に、清川虹子さんに弟子入りを志願していたのです。当時喜劇俳優でシリアスな演技にも定評があった方でした。高校の卒業式が終わって清川さんの家に直行し、夜中まで何時間も座り込んだものの、お付きの方に「清川は女の弟子しか取りません」と、最後は警察に通報されそうになりました。

越智：それは散々でしたね。
片岡：はい。泊まる場所もなかったで、近くの交番に頼み込み片隅に寝かせていただいて。翌朝には両親が引き取りに来て、こっぴどく叱られました。その一件で学習し、片岡鶴八師匠に手紙で志願すると「一度来てみるかい」とお声掛けいただきました。

師匠たちの前で月の家圓鏡さんの落語の物まねをしたところ、とてもうけたことが芸人生活の始まりでした。



若手芸人時代。鶴八師匠と

経験を積み重ねる大切な時間

越智：弟子入り後、浅草演芸場に出演され、テレビでブレイクされるまでに約10年かかったとのことですが、その期間はどのように考えておられましたか。

片岡：芽が出るまでの時間は自分にとって必要な時間だから、たっぷり修業のために使おうと思っていました。いろいろな経験を積み重ねる時間として、大切だったと感じています。

越智：その後、人気お笑い番組『オレたちひょうきん族』にレギュラー出演されるに至ったのですね。

片岡：10年間、当時絶大な人気を誇っていたアイドル・マッチ(近藤真彦氏)のパロディをしていました。当時の彼のやんちゃさを表現したいと思い、歌を歌いながらセットを壊して回るパロディをしたところ、多くの方に気に入っていただけたことが、片岡鶴太郎を知っていただくきっかけになりましたね。

魂の赴くまに

越智：お笑い以外にも、さまざまなことにチャレンジされています。まず、ボクシングに挑戦された理由は何だったのでしょうか。

片岡：子どものころからボクシング観戦が好きで。ちょうどお笑いだけでなく、役者の仕事に意欲を燃やし始めていたころ、体づくりのためにボクシングを始めました。役が制限されないように、体をきちんと整えたかったのです。さらにプロボクサーのライセンスが取れる年齢制限まであと1年というタイミングで、今を逃したらもうチャンスはないと思い、1年間でライセンスを取得できるよう頑張りました。32歳の時でした。

越智：最後の機会だからその集中力、というものがあってのですね。片岡さんは画家としてもご活躍です。絵を描かれるようになったきっかけは何だったのでしょうか。

片岡：隣家の庭に咲いていた椿です。38歳のある寒い朝、ふと気配を感じて振り返った時に見た赤い椿が、誰にも見られずとも自分の生を全うする姿に心を揺さぶられたのです。この感動をなんとか表現したいと考えた時に「絵」だと直感し、独学で始めました。

越智：ボクシング、役者、絵画など、さまざまなことに精力的に取り組まれていますね。片岡さんの「魂の赴くまに成し遂げる」という生き方は、以前本学にお越しいただいた京都大学の本庶佑先生の「有志竟成(ゆうしきょうせい)：志を曲げることなく堅持していけば、必ず成し遂げられる」という言葉にも通じると感じます。



ボクシングにも精力的に取り組んだ

ヨガで出会う至福の瞬間

越智：さらにヨガのインストラクターも務めておられます。

片岡：はい。正確にはインド政府公認の「プロフェッショナルヨガ検定・インストラクター」です。

越智：片岡さんが行われるヨガはストイックすぎるとも話題になりますが、ご本人からするとやはり楽しいものなのでしょうか。

片岡：もちろんそうです。外から見ると苦行かもしれませんが、僕にとってはヨガをするひと時が至福の時間です。もともとはヨガではなく、尊敬するブッタや空海、ステーブ・ジョブズなどと同様に、瞑想をしたいと思っていました。ところがある方が、「瞑想は実はヨガの最終プロットである」と教えてくださり、ヨガを始めようと思いました。

越智：なるほど。ヨガの魅力とは何でしょうか。
片岡：まれに訪れる、これ以上ない幸福感ですね。毎回味わえるものでも追い求めるものでもないと考えていますが、温かく心地よい、その瞬間を心待ちにしています。

越智：片岡さんの行動力はすごいですね。椿の絵もそうですが、気になることにはすぐに取り組まれている印象です。多様なものに挑戦される、片岡さんの流儀とは何でしょうか。

片岡：興味を抱いたことは絶対にやってみる事です。「これをやってみよう」と感じることは、自発的かと思いきや、実は非常に他動的なんです。ある意味、天からのギフトであると考えています。第六感や思い付きを信用する人は少ないのですが、その物事に専心する中で、「よくぞ着手した」と言わんばかりの体験や、魂が歓喜するような喜びに出合えるのです。

越智：他動的であるという点において、「流れに従う」とこと近いかもしれませんね。私の経験を申し上げますと、自分の決断だけで進んできたわけではなく、他者や状況に流されつつ、その先でなんとか努力を重ねてきた結果が今だと感じています。

片岡：何かに導かれているのかもしれませんが、私は自分が「挑戦したい」と直感した物事は、活路が見え、天からの祝福を感じられるその時まで信じ続けたいと思っています。

好きなものを自分で見つけ、決断する

越智：大学はどのようにあるべきだと思いますか。

片岡：学生が主体となり自らの「志」を学び、見つける場だと思います。そして、学生の志をサポートすることが大学の役目ではないでしょうか。

越智：私も学生の皆さんの勉学への意欲が高まるような、教育を受けやすい環境を整えることが、今最も大切だと感じています。

片岡：近年、若者が夢を持たなくなっているのではと、少し残念に思っています。自分の好きなものは自分で発見しなければいけないし、追求するのかどうか、自分で決断しなければならない。とにかく、自分が好きなことを大切にしてほしいですね。そして丁寧に経験を積み重ねてください。

越智：学生には大学での学びを通じて、自らのやりたいことを見つけ、極めてほしいと切望します。本日はありがとうございました。

▶ 展覧会のお知らせ

画業25周年 芸能生活45周年記念
片岡鶴太郎展 顔 -faces-

場所 奥田元宋・小由女美術館(広島県三次市)
期間 9/15(火)~10/25(日)



特集

広大×スポーツ 伝統を 未来へ

来る東京五輪にちなみ、今号はスポーツに関わる広島大学の人が取り組みをご紹介します。プレイする側と観戦する側、どちらも元気づけるスポーツ。広島大学はその魅力を支え、発信することで、スポーツのさらなる可能性を開きます。

高温多湿の夏に 最高のパフォーマンスを 実現する。



長谷川 博 大学院人間社会科学部研究科 教授 / 専門分野: 環境生理学

体温調節に関わる基礎研究に加え、暑熱環境下での運動による高体温や疲労、運動能力の低下、熱中症などを防ぐ「暑さ対策」の応用研究をしています。日本の夏は高温多湿ですが四季があるので、日本人は1年中高い発汗機能が必要とされているわけではありません。そのため、日本の気候の中で発汗機能を最大限生かすためには、独自の研究や対策が求められます。そこで、国立スポーツ科学センター特別プロジェクトからの依頼を受け、研究員として日本の選手の競技力向上とメダル獲得のための「暑さ対策」を研究・実験しています。

体を冷やすのは内部からか外部からのどちらかしかありません。内部から冷やす方法として微細な氷と液体が混ざるシャーベット状の飲料「アイスラリー」を開発しました。最も適した摂取量やタイミングを検討し、酷暑

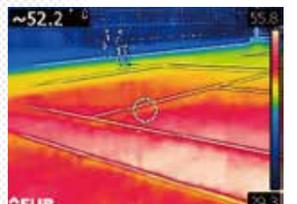


アイスラリーとクーリングベストの効果を測定

暑の中でもパフォーマンスを落とさず最高の結果が残せるのかをトップアスリートたちに実践してもらい、エビデンスを得ています。外部から冷やす方法としてはどの部位の冷却が効率的なのかなどを研究し、アイスパックを効果的に配置できる「クーリングベスト」をスポーツメーカーと共同開発し、競技の現場で活用してもらっています。また、バケツに氷水を張って

手を浸けることも競技現場では推奨しています。手を冷やすと体の中に冷たい血液が流れ体温の低下に有効です。これからの夏季のスポーツイベントでは選手たちが試合の合間にバケツに手を入れている光景が見られるかもしれません。

これらの知見をトップアスリートだけでなく、広く一般の方にも展開・応用することは、競技力向上のほか、夏季におけるスポーツの安全性を高め、スポーツに関わる全ての人の熱中症予防に役立ちます。スポーツ観戦については当たり前のことですが、睡眠、食事をきっちり取りコンディションを整えておくことが基本です。さらに、5日くらい前から暑さに慣れるために汗をかくトレーニングをしておくこと。当日は冷たい飲み物と体を外から冷やす準備をした上で、涼しいところで休憩をとることも有効です。暑さ対策を万全にして、選手には最高のパフォーマンスを見せてほしいですし、観客の皆さんには元気に楽しく観戦してほしいですね。



酷暑のテニスコートでは地面の温度は50度を超える

柔道からコーチング学へ。 人材発掘と指導者養成に取り組む。

出口 達也 大学院人間社会科学部研究科 教授 / 専門分野: コーチング学

広島大学で教員としてコーチングを教える傍ら、柔道の女子ジュニアヘッドコーチを務めています。もともと私自身も柔道選手でしたが、実践と研究の両面から競技力の向上を模索するために大学教員の道に進みました。柔道の創始者・嘉納治五郎が言うように、柔道の本来の目的は人間形成です。さらに、柔道の上達と鍛錬には探究が欠かせません。柔道そのものが教育であり、研究なので、私が大学教員になったのは自然の流れだと思っています。また、柔道を通して学んだことは、他のスポーツにも当てはまるもの。最初は柔道の指導論が専門でしたが、競技の枠を超えてコーチング学へと研究の幅を広げました。

スポーツにはルールがあり、倫理観や道徳観が育まれます。また、試合に勝つために試行錯誤したり、感性を研ぎ澄ませたり。試合に負けることで初めて自分の欠点に気づき、相手を思いやる気持ちが生まれます。選手が負けた時に、どういう言葉をかけ、どういうことを気付けさせるかがコーチングでは重要です。競技力を伸ばすだけでなく、人間的にも成長させられる指導を心掛けています。

アテネ五輪では、金メダルを獲得したヤワラちゃんこと谷選手の指導も

担当。トップ選手になればなるほど効率を求めてしまいがちですが、彼女はあえて時間をかけて、効率の悪い練習にも学びを見いだしていました。また、地道なトレーニングは精神的にも鍛えられます。質・量ともに世界で一番練習している選手だったと思います。本人も私も優勝を確信していました。

現在の私の担当は全日本ジュニアなので、東京五輪の先の大会を見据えています。私たちにとっては、東京五輪はゴールではなく、一つの通過点。10年後、100年後も今の日本柔道が変わらず受け継がれるよう、若い人材の発掘と優れた指導者養成に取り組みたいと思います。スポーツには見ている人の心を動かし、元気づける力があります。皆さんにはぜひ今回の東京五輪をきっかけにスポーツの持つ力に気付いてほしい。もっと多くの方がスポーツの素晴らしさを知り、国内でのスポーツの地位が向上することを期待します。



アテネ五輪にて谷選手(左)、阿武選手(右)と

01 選手の 力を引き出す

02 障がいの有無にかかわらず つながりを目指す



「アダプテッドスポーツ」を広めたい。

西平 美鈴さん 霞アダプテッドスポーツクラブ 代表
(医学部 保健学科 理学療法専攻 4年)



「アダプテッドスポーツ」をご存知でしょうか。障がいの有無、性別、年齢に関係なく、さまざまな人が参加できるように工夫されたスポーツのことです。私たちはサークル活動として、障がい者スポーツの支援・普及や健常者と障がい者のつながり創出を目指し、アダプテッドスポーツの大会ボランティアや講習会・体験会の企画などを行っています。所属メンバーは医療従事者を目指し、学んでいる学生です。実際に障がいのある方と接することで、より実践的な知識を身に付ける目的もあります。講習会や体験会では、競技のルールを教えるだけでなく、「他のスポーツや日常の動作も、工夫次第で全ての人ができるようになる」という考え方を伝えるよう心掛けています。「障がいを持っている」=「かわいそう」「違う人」「できないと決めつける」という発想ではなく、「こういう工夫をしたら一緒に遊べる」と考えられる人を一人でも増やしたいです。

今後の目標は、医療従事者を目指す学生以外の人たちも巻き込んだ活動。東広島キャンパスの学生とも一緒に活動し、障がい者スポーツの輪を広げていきたいと思っています。



あらゆる障がいに対応して選手をサポート。

坂光 徹彦 広島大学病院スポーツ医科学センター 理学療法士



広島大学病院には、スポーツに関連するさまざまな施設・団体・地方自治体と協力し、アスリートをトータルにサポートするスポーツ医科学センターが設置されています。センターのコンセプトは、アスリートの競技力向上や外傷・障がい予防などを通じ地域のスポーツ発展に寄与すること。プロスポーツ選手をはじめ、小・中学生や障がい者など、さまざまな選手が対象です。総合病院内に設置された当センターは、選手たちのあらゆる障がいに対応できるという強みがあります。私は理学療法士としてメディカルサポートを担当するほか、大会のトレーナーやイベントの企画運営などで障がい者スポーツに積極的に関わっています。過去にはトレーナーとしてリオデジャネイロパラリンピックのバレーボール競技の帯同を経験しました。

患者さんや選手と話して感じるのは、健常者と障がい者の間にある心のバリア。「自分と相手は違う」という両者の思いが壁を作ってしまう。しかし、スポーツでは一緒にプレイするだけで、自然と笑い合うことができます。競技を楽しむ気持ちや勝ち負けへの真剣さが心のバリアを取っ払ってくれるのです。

このスポーツの力に気付かせてくれたのは、以前東京で見学した障がい者サッカーのチーム。そこで出会った「障がい者」と呼ばれる人たちはとても魅力的で、心の底からサッカーを楽しんでいました。「同じようにいろいろな人がサッカーを楽しめる場を、自分の故郷・広島にもつくりたい」と思い、中四国初の障がい者サッカーのチーム「アフィーレ広島」を設立。現在は広島県インクルーシブフットボール連盟の代表も務め、障がい者サッカーの普及活動に広く携わっています。障がい者の社会参加しやすい環境づくりに貢献し、最終的には障がいの有無にかかわらず全ての人々が自然に暮らせるインクルーシブな社会の一助となるのが目標です。

東京五輪・パラは、沢山の人にスポーツの楽しさを知ってもらおうチャンスだと考えています。東京で大会が開催されれば毎日否応なしに情報が入ってきます。今までスポーツに興味なかった人が、どんな所でもいいので面白いと感じてくれればうれしいですね。そして将来スポーツに関わりたいと思う子どもたちが少しでも増えることを期待しています。



リオパラにて、バレーボール日本代表・瀧選手と

広大×スポーツ よもやま話

1964年 聖火リレー走者を務めた OB藤本幸宏さん

1964年の東京五輪では、広島大学生2人が聖火リレー走者として広島県内を走りました。その1人が当時、工学部化学工学科1年生だった藤本幸宏さん(74)。聖火は9月20日に広島県入り。藤本さんは翌21日、太田川に架かる祇園大橋(広島市)を渡って三次市方面に向かう約2キロの区間を走りました。沿道で小学生の鼓笛隊が演奏する中、白バイに先導されて走った藤本さん。「私は終戦の日生まれ。聖火を手にとるの大切さを実感しました」。着用した日の丸と五輪マーク入りのランニングシャツは、当時の写真と一緒に今も大切に保管しています。「大学時代はジャズに熱中し、あまりスポーツとは縁がなかった」そうです。今夏の東京五輪は約1年後に延期となりましたが、得意の英語を生かし、大会ボランティアとして二度のお役に立ちたいと張り切る毎日です。



広島大学病院スポーツ医科学センターでは、広島東洋カープ新入団選手の体力測定(フィジカルチェック)を行っています。その結果はカープのトレーナーと共有し、選手のトレーニング計画作成に活用されています。今シーズンも新人選手の活躍を期待しています!

広大中央図書館と代々木競技場は設計者が同じ!

1964年東京五輪のために建設された国立代々木競技場(旧・国立屋内総合競技場)は、広島大学の中央図書館と同じ、丹下健三氏が設計しました。丹下氏は広島高等学校(現・広島大学)の出身です。



体育会行事 地域に開く

広島大学体育会が発足した1963年、広島大学と宮島間の往復40キロをつなぐ「学長杯争奪フェニックス駅伝」が行われました。市民の参加や仮装で走る学生などお祭りムードの漂うユニークな大会に。その後もさまざまなスポーツの大会が実施され体育会の活動は活気づいていきました。体育会初代会長に就任した当時の皇至道(すめらぎ・しどう)学長は、運動部の学生だけの組織ではなく、一般の学生に運動や体育に親しんでもらうことで大学全体のスポーツ振興を望んでいました。現在もその思いが継承され、フェニックスリレーマラソンなどは地域とのつながりにも役立っています。



第1回フェニックス駅伝(個人蔵)

ブラジル柔道を率いる OG藤井裕子さん

柔道男子ブラジル代表監督を皆さんはご存知でしょうか。拔擢されたのは、広島大学教育学部・大学院教育研究科出身の藤井裕子さん。大学院修了後、留学先のイギリスでオファーがあり、イギリス代表チームのコーチに就任し、ラファエラ・シルバ選手らを指導。リオ五輪での金メダル獲得に貢献しました。2018年に現職に抜擢。女性が柔道男子の監督を務めるのは珍しく、藤井さんの指導力が高く評価されていることが伺えます。東京五輪も注目です。



相撲部の実話が映画化!

広島大相撲部は過去、部員の減少によって廃部の危機に。それを女子学生と留学生が救ったという実話をもとに2005年『ちゃんこ』という映画が製作されました。東広島キャンパスを中心に学生など延べ1000人以上のエキストラを動員して撮影が行われ、カンヌ映画祭、ベルリン映画祭などで上映されました。

スポーツ王国広島と織田幹雄氏

広島大学の前身校は、ボート競技やサッカーなど代表的なスポーツを持ち、全国大会での活躍や地元での定期戦はスポーツ王国広島の素地を形成しました。中でも活躍が際立ったのは、1923年に広島高等師範学校に入学した織田幹雄氏。同年に開かれた第6回極東選手権大会で、走り幅跳びと三段跳びに極東新記録を樹立して優勝しました。さらに翌年のパリ五輪の三段跳びで6位入賞。早稲田大学に入学した織田氏は、4年後のアムステルダム五輪の三段跳びで日本人初の金メダリストとなりました。



アムステルダム五輪での跳躍 (海田町教育委員会提供)

古文書に隠された

「角筆」の謎を解き明かす

学問の探求

教授が答える、社会の“？”

2019年度文化功労者に小林芳規名誉教授が選ばれました。今号は小林先生に角筆(かくひつ)の世界を案内していただきます。

小林 芳規 名誉教授 専門分野:国語学

こばやし・よしのり / 1929年生まれ。主な著書に『角筆文献の国語学的研究』『平安時代の仏書に基づく漢文訓読史の研究』(全10巻)など。1991年恩賜賞・日本学士院賞受賞。



出合いは偶然発見した爪痕のようなくぼみ

もともと私の研究テーマは漢文訓読史で、資料を探しに京都や奈良の古寺を訪ねていました。高野山のお寺で漢籍の資料が見つかり、その展覧会を見に行った時に、たまたま漢字の横に爪痕のような文字や符号が記されているのに気付いたのです。1961年、角筆との出会いでした。それから1年後、東京の大東急記念文庫にある平安時代の経典を調べていたら、2点目のくぼみ文字が見つかりました。3点目は、原本でなく私が持っていた漢書の写真複製本で見つけました。

角筆文字には墨などの着色がなく、光の当たり具合でやっと見える程度なので、他の研究者からは全く見逃されていました。それから角筆文献の調査を始め、各地の古文書にくぼみ文字が残されていないか確かめました。

全国各地で見つかった角筆で書かれた私的な文書

研究を始めて26年後、見つけた角筆文献が100点になり、およその輪郭が分かってきたので『角筆文献の国語学的研究』(汲古書院、1987年)という本にまとめました。時代は奈良時代から江戸時代にわたり、大部分は漢文の読み方を示した仮名や符号などの訓点資料でしたが、手紙や古文書、さらには上代の木簡からも角筆の書き込みが見つかりました。昔の人は、ろうそくの光を当てながら、角筆で書いたり読んだりしたのだらうと思います。また、研究を進める中で、角筆で書いた言葉の性格もある程度分かってきました。角筆で書いたものは目立たないから、正式な文書ではなくて私的な文書です。いわば毛筆を用いて墨で書いた文字がハシなら、角筆で書いた文字はケなのです。当時の口語や

俗語なども書き入れられていました。

その時までに見つかった文献は、京都や奈良の古いお寺に伝わっているものがほとんどでした。くぼみで文字を書く世界がどのくらい広がっているのか見極めたくて、広島大学を定年退職したのを機に、10年掛かりで北海道から沖縄まで日本中を調査しました。その結果、47都道府県全てで角筆文献を見つけ、かつて日本全国で角筆が使われていたことが判明。発見した文献の数は3250点余に上り、中には土地の方言で書かれたものもありました。

へこみが薄くて読みづらい文献もあった中、調査を支えたのは「角筆スコープ」。理学部の吉沢康和教授(当時)に開発していただいた特別なライトです。これを引っ提げて日本全国を回りました。角筆スコープのおかげで、調査は順調に進めることができました。



角筆地図(小林芳規『角筆文献研究導論 別巻 資料篇』)。日本全国で発見された角筆文献が記録されている

フィールドは日本から世界へ海を渡った角筆文化

日本の古代文化に影響を与えた中国にも角筆文献があるのではないかと考え、調査を中国にも広げました。1985年、北京に設立された日本学研究センターに客員教授として招かれた際に蘭州を訪れ、2000年前の漢時代の墓から出土した木簡「武威漢簡」に角筆の跡と思われるくぼみを確認。さらに、敦煌文書や宋代の木版一切経の経典のほか明代、清代の文献からも角筆の書き入れを発見しました。

また、中国に角筆が残っているのならば日本が大陸文化を取り入れる経路となった朝鮮半島にもあるのではと考え、2000年にソウルの主な大学図書館と博物館の調査へ。11世紀の初雕高麗版か

ら、日本のマコト点(読み方の補助記号)に当たる「点吐」と仮名に当たる「字吐」が角筆で書き入れられていることを初めて発見しました。13世紀以降の文献にも見いだされ、韓国でも角筆が使われたことが明らかになりました。東アジアの漢字文化圏で主に漢文を読み解くのに角筆が使われ、交流も行われたことが分かってきたのです。さらに大英博物館を調査した結果、ヨーロッパでも角筆が使われたことを突き止めました。11~12世紀の手写しのパイプに角筆のような古代文字や符号、絵などの書き入れがあったほか、コーランにもありました。このように角筆文献は東アジアだけでなく、ヨーロッパや中東にも広がっているようですが、その調査はやっと緒に就いたばかりです。

角筆には先端の尖った筆記用具が使われた

未知への探求心が新たな発見につながる

8世紀に伝来し奈良の東大寺に所蔵されている新羅経典から、角筆で新羅語を書き入れ読解した写経が見つかり、2009年から毎年、韓国の研究者と共同で読解作業を進めています。2020年1月に15回目の共同研究を東大寺で行い、1141行全てを一通り読解しました。くぼみが薄くて読みにくい箇所もあるので、研究を進めていきたいと思っています。

私の研究は、人々から忘れられていた角筆文字の世界の一端を掘り起こしたにすぎません。角筆という視点から光を当てることで、新たな文化史が開かれるでしょう。広島大学が世界の研究をリードしてほしいと期待します。いつも調査に出掛けると、必ずドラマを感じ、未知への憧れにわくわくしたものです。それが今日までの原動力になってきたように感じます。若い皆さんには未知の世界への探求心を持ち、継続して労力を惜しまないでほしいと思います。



角筆スコープ



『即身成仏義[江戸初期]』中の角筆文字。通常の照明では分かりづらい(左)が、光の当たる角度を調節する(右)と、「解脱」という文字の右側にくぼみ文字が書き込まれていることが分かる(広島大学総合博物館にて常設展示)

角筆文献から読み解く世界

角筆については事例を交えた分かりやすい書籍が出版されています。今回はその中から事例を少しだけ紹介。興味のある方はぜひご覧ください。

CASE1 白紙の手紙

角筆文献の中には、全文が角筆で書かれたものも存在する。そこには筆者の本音やメッセージが隠れていることも。例えば、幕末の蘭学者、高野長英の白紙の手紙には、脱獄の意志が秘められている。

CASE2 方言の書き込み

江戸時代の藩校の教科書には角筆で読み仮名などのメモが書き込まれているが、そこには地方ごとの方言が反映されている。全国の文献を収集・比較すれば、方言の分布などを読み取ることも可能だ。



小林芳規 著 『角筆のひらく文化史一見えない文字を読み解く』(岩波書店)

AERAが書く、研究者の素顔

研究者は普段どのような一日を送り、研究に取り組んでいるのか。学問との出会いや、探究の原動力は何だったのか。人物、スポーツ、文化、政治、経済、事件…幅広いジャンルを取材するAERA記者が研究者の素顔に迫ります。

[AERA]
「時代」をキーワードに独自の切り口で描くニュース週刊誌。国内外の重大ニュースから身の回りの小さな出来事まで「時代」を敏感にキャッチし、独自の視点で掘り下げた記事をお届けしています。

哺乳類の雌雄産み分け 新技術に世界が注目

島田教授に訊く!!!

- Q1 研究者を志したきっかけは?
- Q2 家畜生殖学とは?
- Q3 これからの研究課題は?



統合生命科学研究科

島田昌之教授



父への“反抗”で 生物の道へ

「昆虫や爬虫類は大の苦手。子どもと動物園に行っても、蛇の小屋には入れないんですよ」
生命科学の専門家である島田昌之教授はこう笑う。生物の道に進んだきっかけは、意外なものだった。

父は応用化学の素材工学分野の研究者。叔父も研究者だったため、子どもの頃から「自分も研究者になる」と自然に思っていた。高校時代、理科の選択科目でほとんどの生徒が物理を選ぶ中、マイナーだった「生物」を選んだ。

「生物に特別興味があったわけではなく、物

理を選んで父と同じ道に進んだら、将来比較されてしまうと考えたんです。思春期特有の反抗でしたね(笑)」

広島大学から同大学院へ進学。マウスを用いて遺伝子を調べ、受精や排卵にどう影響するかを調べる「家畜生殖学」が専門だ。

研究者として早くから頭角を現し、32歳で准教授に抜擢された。同じ年、アメリカに留学し、恩師となる女性研究者、ジョアン・リチャード教授に出会う。「厳しい先生でした。誰が見ても紛れや疑念を生じないレベルまで徹底的に実験する、という研究の基礎を叩きこまれました」

大学発ベンチャーで 研究を社会実装まで

島田教授の代表的な研究の一つが、2010年に発表した「豚の凍結精液を用いた人工受精技術」だ。それまで豚の人工受精は難しく、妊娠の成功率が低い上に生まれる子どもの数も少なかった。島田教授は精液を品質の良い状態で凍結、解凍できる方法を開発し、妊娠、出産の成功率を自然交配と同等に引き上げた。

「例えば豚熱(CSF)や牛の口蹄疫などの伝染病が発生すると、家畜は淘汰(殺処分)されてしまう。冷凍精液を用いることで、代々の品種改良などの努力がとれるリスクをカバーできるのです」

精液を3000以上の成分に分けて、調べると

PROFILE

しまだ・まさゆき/1973年東京都生まれ。広島大学大学院統合生命科学研究科教授。2007年広島大学大学院生物圏科学研究科准教授。2017年同大学大学院生物圏科学研究科教授を経て現職。大学発ベンチャー「広島クライオオリガベーションサービス」の代表取締役も務める。専門は家畜生殖学。



アメリカの恩師リチャード教授(左)。アメリカ生殖学会でregional research awardを受賞した際の1枚



教室には、歴代の卒業生からプレゼントされたさまざまな豚グッズが飾ってある



日本セラミックス協会雑誌に掲載された父のエッセイ。研究者としての原点を思い出すため、今も時々読み返す

What do you like?

気分転換と体づくりのために走る習慣をつけている島田教授。普段は広島市内の河原を走っている。写真はカナダでのランニングの様子。



いう地道な研究だった。「アメリカでリチャード教授に学んだ精神があったからこそ、成功に至った」と島田教授は振り返る。

その成果はすでに畜産現場で活用されている。2011年には、養豚家から預かった豚の精液の冷凍保存や、人工受精用の保存液などの製造販売を行う大学発ベンチャー「広島クライオオリガベーションサービス」を設立した。

「マウスの遺伝の配列を調べるという入り口から、最終的には農家レベルで実用化できるところまでが私の研究。研究者は基礎研究だけ、実用研究だけ、とがちですが、私は統合して全部やりたいと思っています」

将来の食糧問題の 解決にも

2019年7月に発表し注目されたのが、世界で初めてとなる「哺乳類の雌雄産み分け」の技術だ。精子には、卵子との受精後にメスになる形質を備えた精子(X精子)とオスになる精子(Y精子)があるが、島田教授らは、ある溶液内での刺激によりこの二つの精子を分離する技術を開発。それぞれを体外受精させることにより、マウスや牛などで8割以上の確率でオスとメスを産み分けることに成功した。

「大掛かりな装置を使わずにX精子とY精子を分離できるので、将来的には畜産農家のレベルで産み分けができる可能性があります。ただし生命倫理の問題があるため、人以外の哺乳類に限って特許を申請しています」

研究成果は国内外で大きな反響を呼んだ。将来の食糧問題を解決するヒントにもなるという。

「例えばヒンドゥー教の人たちは牛肉を食べませんが、メス牛由来の牛乳やチーズは動物性たんぱく源として貴重です。メス牛のみ需要があってもオス牛がいなければ繁殖できませんし、宗教上の戒律で不要なオス牛を処分できないため、インドでは畜産業の規模がなかなか拡大せず、需要に追いついていない。こうした問題が解消する可能性もあります」

取材した日「この後、愛媛県の畜産家と会う約束があるんです」と話した島田教授。地道な基礎研究と、その成果を畜産農家が使えらるまで落とし込む実用研究。その両輪を回し、活躍のフィールドを広げている。

取材・文／
アエラムック編集部 部長 大谷 荘太郎

team
07



発表とロジカルな指導を通じ、
現代社会の問題に迫る



大学院人間社会科学研究科 マネジメントプログラム
ヴェサ ペルトコルピ (Vesa Peltokorpi) 研究室

理論と手法を基軸に「労働」に関わる身近な課題を解決する

2019年に着任したばかりのペルトコルピ教授の専門は人的資源管理や国際ビジネス、組織行動。主に多国籍企業での「採用と自発的な離職」について研究している。例えば近年、日本国内でも能力の高い外国人を採用するために英語を公用語にする企業や、海外に子会社を置く企業が増えている。その場合、社員同士の言語や文化が違う環境で、組織管理にどのような問題が起こるか、外国人従業員にどのようなストレスや不安があるかを考えて運用しなくてはならない。教授の研究は、人的資源管理や組織心理学の理論から離職率の削減に貢献する。

ペルトコルピ教授のもとで学ぶのは、社会人と留学生の4人。がん患者の就労や仕事の満足度、留学生の就職活動など、研究テーマは各自のバックグラウンドに関連する内容が多い。研究は主に2つの手法で進められる。理論を調査によって検証する方法と、調査から新しいモデルや理論を導き出す方法だ。ゼミでは毎回、発表が行われ、学生たちは活発な

議論と教授のロジカルな指導のもとで鍛えられる。「学生たちには“良い”研究をしてもらいたいと思っています。研究の理論や手法を基礎からしっかりと積み上げれば、失敗が減るしデータの質も上がる。基礎があれば、より複雑な課題研究にブラッシュアップしていくことも可能です」

マネジメントプログラムは、平日夜間と土曜にも授業が開催されるため、社会人が多く在籍しているのが特徴。利便性に優れた広島市内の東千田キャンパスにあり、仕事と両立させながらの研究も可能となる。

ペルトコルピ教授の出身は福祉先進国のフィンランド。日本の労働環境には課題を感じることが多いという。「妻や友人からは、女性が仕事と家庭を両立する上での苦労を頻繁に耳にします。また、日本ではパワハラの問題が根強い」。働き方改革やワークライフ・バランスの重要性が唱えられる一方で、なかなか進まない諸課題の解決。理論に基づく研究を通して、誰もが働きやすい環境づくりへの貢献を目指す。

学問分野: 人的資源管理 / 国際ビジネス / 組織行動
キーワード: 組織管理、組織心理学、労働環境、採用、自主退職
人数: 大学院生4人、教員1人



大学院統合生命科学研究科 生命環境総合科学プログラム
斎藤 祐見子 (さいとう ゆみこ) 研究室

神経細胞の一次繊毛に着目し、創薬の可能性を探る

脳を構成する神経細胞の情報伝達は、神経伝達物質が細胞膜にある特定の受容体に結合して行われる。受容体の一つであるGPCR (G蛋白質共役型受容体) はさまざまな物質と結合して生理機能を制御する働きがある。抗アレルギー薬や頭痛薬など既存の薬の約30%がGPCRに作用するように作られている。GPCRにはまだ結合する物質が判明していないものも多く、創薬の可能性を大いに秘めていると言われている。

一方食欲や情動に関わるGPCRの一部は、細胞膜ではなく、細胞の特殊な環境センサー「一次繊毛」膜に存在している。斎藤教授(写真左から3番目)はこの一次繊毛に備わるGPCRに着目。既にここを起点とした新たな生

物作用を見だし、長期的には病的肥満やうつ病に効果的な創薬への貢献を目指す。

研究室の強みは、若手の小林勇喜助教(写真右奥)を中心に、メンバーで協力しながら一から切り開いてきた実験システム群だ。中には先輩から後輩へと引き継ぎ、3年かけて開発したものもある。現在では通常の培養に加え、海馬や大脳皮質のスライス培養、ヒト由来iPS神経細胞、情動系の疾患モデル動物などを使った、分子生物学を生かした実験が進行中だ。一次繊毛のGPCRのメカニズム解明という共通のテーマに対して各自が異なるアプローチで研究しているので、週一回の研究報告会では熱い議論が展開される。

「遠慮することなく自由に議論できる雰囲気

学問分野: 総合生物 / 神経科学 / 神経化学・神経薬理学
キーワード: 神経細胞、一次繊毛、摂食、うつ病、GPCR
人数: 学部生3人、大学院生2人、教員2人、その他1人
その他連携機関: 広島大学大学院医系科学研究科、山梨大学、理化学研究所、カリフォルニア大学

team
08



チーム一丸となって挑む
独自の実験スタイルを確立

作りを心掛けています」と話す斎藤教授。本来の教室は実験用に開放し、研究室にある小部屋を教室として使用している。実験室とカーテン1枚で仕切られたその部屋には、学生たちの実験の様子が伝わってくるという。気軽に声を掛けやすい環境が、日々のコミュニケーションとお互いを支え合うチームづくりにつながっている。

今後の目標は、小さな研究室だからこそできる(ストーリー先行型ではない)、「見逃さない」丁寧な観察と思考を通して、一次繊毛を起点とした生理機能の真実に一步一步迫ること。「細胞から個体まで」カバーできる独自の実験システムとチームワークという強みを生かして、一次繊毛の生物機能を解き明かしていく。

【ぶち】

とでも(広島弁)

おもしろい 広大講義

学生がおすすめする広島大学の「ぶち」おもしろい講義を各回ご紹介します。

vol.04

日本工芸史学応用研究

開講部局：文学部
 科目区分：専門教育



担当教員：伊藤 奈保子 准教授
 (大学院人間社会科学部研究科)

専門分野：人文学／芸術学／
 美術史

Student's Voice!

実習では職人さんたちの思いに直接触れることで伝統産業の価値や現状を知り、目を向けることの重要性を感じました。企画が徐々に形になっていくことに、やりがいを感じます。

文学部 3年 多川 大紀 さん



伝統工芸品の魅力に出会う！ 広島の職人に学ぶ日本の手仕事

日本各地に残る伝統工芸の数々。自然の素材を使った職人の手仕事が光る工芸品は、地域の文化として長年受け継がれてきました。それが今、後継者不足などにより、衰退の危機に直面しているのをご存知でしょうか。文学部の「日本工芸史学応用研究」では、文献資料や実習などを通じて広島県の伝統工芸を学びます。伝統工芸品を美術史的、歴史的に考察する力を養うとともに、地域の人々との交流や伝統文化・産業の掘り起こしによる地域社会の活性化を目指しています。

授業は主に、日本の伝統工芸についての基礎知識の学習と、工芸品を作る過程を学ぶ実習の二つで構成されます。実習では、見学依頼から段取りまで、全て学生たちで行います。備後置表の材料となる蘭草を一から作ったり、大竹手漉き和紙による鯉のぼりの手描きに挑戦したり。これまでも地域のさまざまな工芸品に触れてきました。また、既存の工芸品を現代の生活にどう生かすのかも考察。「広島の工芸品を組み合わせ、お茶の空間をプロデュースしよう」「それなら、この前の実習先の三原だるまを茶筒代わりにはどうか」「だるまを入れる袋は備後緋で作ろう」「実習で作った備後蘭草の円座を座布団にしようか」。ディスカッションする学生たちは非常に生き生きとしています。制作現場を見ているからこそ、それぞれの特徴を生かした柔軟な発想が生まれます。

「職人の技を目の当たりにし、ものづくりの苦勞を体験することで、ものを大切に作る心が育まれます。学生には、「手仕事の美しさと価値」が分かるようになってほしい」と担当教員の伊藤准教授。ものづくりを知ること、日本の文化を考えることにもつながります。「人間の手によって自然が新しい形となり、それが生活を豊かにする。自然との調和を重んじる日本人の生き方や文化を感じ取れるのでは」。広島大学が実施する「地域の元気応援プロジェクト」事業などと連携しながら、広島県の伝統工芸や地域との関わり方、さらには日本の文化まで、五感を使って楽しく学べる授業です。



三原だるまの茶入れ決めの様子。



実習では蘭草を植え、干すことも体験。



完成した時の達成感は一ひしおです。

柳 千晶 さん

法学部 4年
 留学期間：オーストラリア2週間、リトアニア(1回目)2週間、セネガル2週間、
 リトアニア(2回目)5ヵ月

身に付いたのは、プラス思考と根気強さ。

日本での生活に縛られず、新しいことに挑戦し続けたい。短期留学とインターンシップを経験し、今回初めて長期留学に挑みました。選んだのは、短期留学で訪れたリトアニア。人々の温かさや旧市街の雰囲気魅了され、再び同地で学びたいと思ったからです。英語でエッセイを作る課題が複数あり、それには苦戦しました。全く書き方が分からず途方に暮れましたが、周りの力を借りて完成させることができました。時には他人と比較し、自分の英語力に落胆することもありましたが、留学という貴重な機会に感謝し、全力で取り組みました。身に付いたのは、プラス思考で最後までやり抜く精神力と根気強さ。留学が私を大きく変えてくれました。



考えを整理するためにほぼ毎日通った、お気に入りの聖ミカエル教会。



旧市街を一望できる展望台で。この景色が私をリトアニアに引き戻してくれました。



広大から世界へ。世界から広大へ。
TO THE WORLD
 世界へのまなざし

Ahmed Mahmoud Amer さん

アフマド マハムード アメル
 文学部 3年
 出身国：エジプト 留学期間：2019年10月から1年間(アズワン大学から留学中)

日本語学習とたくさんの学生との異文化交流。 刺激的な毎日は広島大学ならではの。

留学前から勉強していた日本語をもっと上手に話せるようになりたいと思い日本へ。広島大学を選んだのは、エジプトの大学でお世話になった先生が勧めたから。聞いていた通りの美しい街並みや優しい人たちに囲まれ、自分の選択は正解だったと感じています。今の一番の課題は漢字の勉強。アラビア語や英語と全く異なる文字に苦戦していますが、とても楽しいです。また、世界各国から集まる学生たちとの交流を通して、多様な文化や考え方に合うのも刺激的です。留学生が多いので、ムスリムの私にも過ごしやすい環境があることも魅力的です。この経験を生かし、エジプトの日本大使館で翻訳者として働くことが将来の目標です。



一番のお気に入りのスポットは宮島。日のお祭りが詰まった場所です。



大好きなお祭りでイルミネーションを満喫！

活用した留学プログラム 森戸国際高等教育学院 3+1プログラム

海外の大学で2・3年次までの課程を修了した学生を特別聴講学生として受け入れ、専門教育や卒業論文の指導を実施。

日本の好きなおとこ

日本の文化が大好きです。特に好きなのは時間をきっちり守るところ。お祭りも好きなので、大学祭だけでなく地域のお祭りにもたくさん参加したいです。

EGYPT → HUI

活用した留学プログラム HUSAプログラム(リトアニア)

- ＜これまで活用したプログラム＞
- ・STARTプログラム(オーストラリア)
- ・START+プログラム(リトアニア)
- ・学外のインターンシッププログラム(セネガル)

広島大学は、短期プログラムが充実していて、留学にチャレンジしやすい環境だと思います。私も短期留学で経験を積んで、長期留学にステップアップしました。

HU → AUSTRALIA
 → SENEGAL
 → LITHUANIA



学生レポ! 私も 広大です

誰でも気軽にできる手形アートの魅力
たくさんの人に届けたい

petapeta-art®という子どもの手形や足形をさまざまなモチーフに見立てたアートを考案し、その普及に向けたイベント開催や講師育成を行っています。きっかけは、私自身の子育て経験。初めての育児でストレスがたまり体調を崩してしまった時、気分転換の方法として手形アートを思い付きました。手形アートは以前からアメリカや日本の保育園でも取り入れられていましたが、絵の具を使ったものが多く、家庭で行うのは大変でした。そこで、水性のインクパッドとマスキングテープを使い、誰でも手軽にできる形にアレンジ。自分と同じように子育てにストレスを抱える人々の助けになりたいと思い、会社を設立しました。

創業時は広島での教室やイベント開催を中心に展開していましたが、認知度が上がるにつれて県外の企業からもお声掛けいただくようになりました。そのうち、手形アートの講師になりたいと言ってくださる方が現れて、講師育成のサービスも開始。今では1200人を超える講師が全国で活躍しています。また、シヤチハタ株式会社と共同で、肌に優しい塗料を使った手形アート専用のインクパッドを開発しました。

手形アートは育児の気分転換になるほか、子どもの成長を目に見える形で残せるという魅力があります。子どもが成長すれば、一緒に作品づくりを楽しめるようになり、親子の思い出作りや愛着形成にもつながります。「人生が変わりました!」と言ってくださる方がこれまで何人もいて、本当にうれしかったです。

現在、コンテンツの意義を学術的に説明するために、広島大学の保健学分野の先生と手形アートの精神的な効用について共同研究中。作業療法的な効果があれば、終末期医療に応用できる可能性もあります。最近では老人ホームでのイベント依頼も増えているため、さらに幅広い年齢層をターゲットにした展開を検討しているところです。

学生時代に一生懸命取り組んだことが 自分の将来を豊かにしてくれる

広島大学へは3年生の時に編入学したので、短期間で単位を修得できるよう、勉強に必死でした。日本文学を学び、研究職を志望して、卒業後は大学院に進学。ひたすら本を読んでは論文を書く日々を送りました。結局研究職には就けませんでした。自分の好きな学問をとことんまで究めた経験は、現在の仕事に役立っていると感じます。後輩の皆さんには、ぜひ大学で自分のやりたいことに没頭してほしいですね。そうやって学生時代に情熱を傾けて、培ったものがきっと何らかの形で自分の人生を豊かにしてくれるはずです。

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されているOB・OGの方々に学生がインタビュー。現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。

文学部・大学院文学研究科 出身

山崎幸枝さん

株式会社petapeta 代表取締役 (広島県広島市中区)

やまざき・さちえ/広島大学文学部2004年度卒業、大学院文学研究科博士課程前期(人文学専攻)2007年度修了。2016年に株式会社petapetaを設立。2児の育児の傍ら、手形アート作家として活動。全国での親子集客イベントの企画受託と開催、専用商品の開発・販売なども行う。第23回ひろしまベンチャー助成金/育成賞金賞受賞。中国地域女性ビジネスプランコンテストSOERU第二回中国経済産業局長賞(大賞)受賞。



Report

学生広報ディレクター

子育ての経験がきっかけで起業したというお話は興味深かったです。手形や足形は小さな子どもが好きなイメージがありましたが、大人やお年寄りも楽しめるものだと知り、驚きました。子育ての苦労など、なかなか知る機会のないお話が聞けて、良い経験となりました。

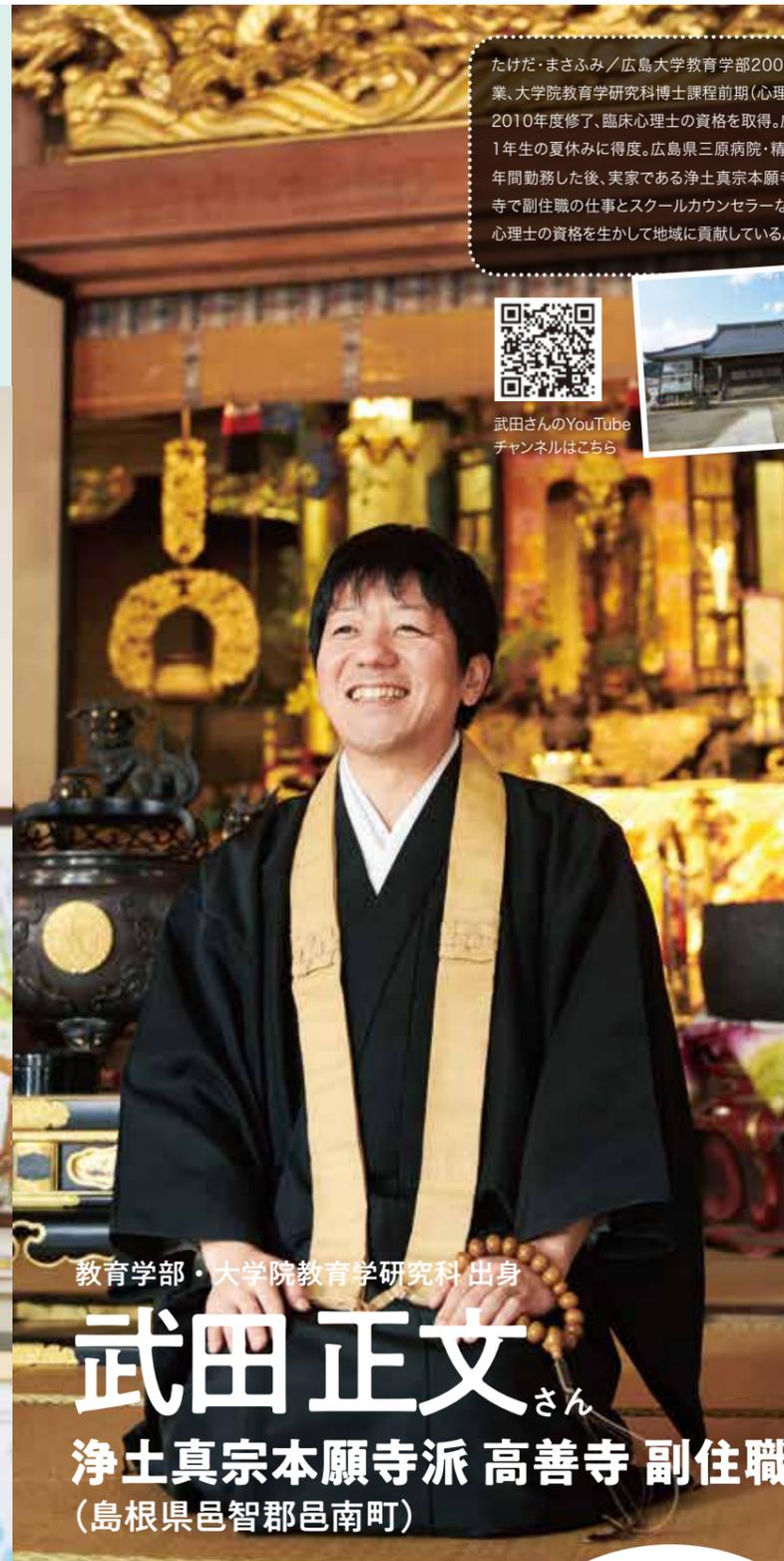
教育学部4年 野村 健悟さん



たけだ・まさふみ/広島大学教育学部2007年度卒業、大学院教育学研究科博士課程前期(心理学専攻)2010年度修了、臨床心理士の資格を取得。広島大学1年生の夏休みに得度。広島県三原病院・精神科で3年間勤務した後、実家である浄土真宗本願寺派高善寺で副住職の仕事とスクールカウンセラーなど、臨床心理士の資格を生かして地域に貢献している。



武田さんのYouTubeチャンネルはこちら



教育学部・大学院教育学研究科 出身

武田正文さん

浄土真宗本願寺派 高善寺 副住職 (島根県邑智郡邑南町)

僧侶とカウンセラー、2足のわらじ 目の前にいる人の幸せを願って

実家のお寺で僧侶をする傍ら、臨床心理士として地元の小中高校や企業でカウンセラーをしています。寺の長男に生まれ、子どもの頃から僧侶になると思っていました。宗教以外の学びでお寺を変えられないかと考え、大学院では心理学に進み、在学中に得度(出家して受戒すること)と臨床心理士の資格取得という今の仕事の基本を身に付けました。

スクールカウンセラーとして学校に向う中で、この町に足りないと感じたものをできる限りお寺で提供しています。例えば、町内には学習塾がほとんどありません。そこで、寺子屋を開き勉強を教えています。同時に不登校や引きこもりの子どもたちを支援しています。目の前の人々が幸せに生きるのを支えることは宗教の教えに沿ったお寺の役割ですから。

プログラミングの授業もお寺でやっています。本堂にドローンを持ち込み飛ばしたことも。子どもにも大人にも喜んでもらえ、田舎にいても最先端技術に触れられるのだと分かってもらえたと思います。また、若い方に仏教を身近に感じてもらったり、自力でお寺に行けないお年寄りが家で法話を聞けたりできるよう、「仏心チャンネル」というYouTubeを開始。ご本堂のYouTubeスタジオから世界に発信しています。お寺に来る子どもたちは、私をユーチューバーと思っているんじゃないでしょうか。なりたい職業の上位に挙がるユーチューバーが身近にいることが子どもの夢やこの町の可能性になればいいと思っています。

人脈を生かしてやりたいことに挑戦 チャレンジしないことがリスクに

在学中はバンド活動やパーでのアルバイトなど、いろいろとチャレンジしました。アルバイト先のパーのマスターは、同じ広島大学出身で偶然にも住職のお孫さんだったので、仲良くしてもらいました。「新しいことの始め方」を教わり、そのパーを拠点に講演や音楽のイベントを企画・実行しました。その経験が今お寺でイベントをする際に役立っています。イベントに招いた人も含め、面白い大人の存在が自分の人生に大きな影響を与えてくれました。

広島大学はワクワクする大学だと思います。広大ネットワークは広く、その人脈をたどっていけば、知りたいことや実現したいことに到達できます。学生の皆さんには、勉強はもちろんですが、楽しいことにどんどん挑戦してほしいと思います。失敗したり、飽きたりしたら、やめればいい。チャレンジしないのがリスクになる時代です。意味がないと思えることも、必ず自分の身になります。

今までとは違う価値観を持ち込み、誰もがお寺に行けば何とかなると思ってもらいたいと考えています。そしてその考えに共感して協力してくれる行政や学校、住民の皆さんと力を合わせて、良い町にしたいと思っています。人口減少などで寺院が消滅する中で、お寺が地域を支えていくという構造が一つのモデルになればいいですね。

Report

学生広報ディレクター

「今まで通りのお寺ではいけない」という言葉が印象に残りました。大学時代に学ばれた、心理学と仏教を結び発信するという新しいお寺の形を見せていただいたと思います。「地域あつてのお寺」を根底にさまざまな取り組みをされており、挑戦することの大切さを学びました。

教育学部4年 山下 奈那子さん



広大生が集う憩いの場

東広島キャンパス内に新スポットが相次いでオープン。これを機に、学内の施設をご紹介します。



one café

アウトドアをイメージした店内で、ほっと一息。ドリンク以外にサンドイッチなどの軽食を販売しています。パンは曜日替わりで人気のパン屋さんの商品が並び、テイクアウトもできます。
営業時間：平日9:30~17:30
(一般の方の利用も可能)



ダイバーシティエリア

ユニークな内装とカラフルな座席が印象的な、霞キャンパスの学生のための自習室です。広々とした空間で勉強もはかどります。
開室時間：平日7:30~18:30

#部屋の中に部屋がある #霞キャンパス
#研究棟C1階

福山通運 小丸賑わいパビリオン

2019年12月にオープン。フリースペースは飲食も可能で、集会や自習など多目的に利用できます。木材、日差しをあたたかさを感じる心地よい空間。起業部の活動場所にもなっています。
開館時間：平日8:00~20:00
(ただし専有予約時は利用不可)

#パビリオン
#東広島キャンパス
#中央図書館前
#起業部
#上から見ると
でこぼこの屋根



BIBLA Senda

東千田キャンパスにあるグループワークや自習用の施設。可動式のテーブルと椅子、ホワイトボードを自由にレイアウトできます。
開室時間：(授業期) 平日8:30~21:00
(休業期) 平日9:00~17:00
(学生証・職員証認証)

#ビブラ #ラーニングcommons #東千田キャンパス
#未来創生センター1階



留学生の相談窓口
「ウェルカムデスク」も併設



私の活動場所
広島大学
総合博物館

黒島 健介さん

大学院理学研究科 地球惑星システム学専攻 博士課程後期 1年

自分の研究を博物館で展示・紹介したい

広島大学総合博物館の学生スタッフと、外部の方を案内するキャンパスガイドという広島大学の魅力を紹介する活動をしています。地域の方でも意外と知らない広島大学の面白いところをお伝えし、喜んでいただけるのがやりがいです。最近では博物館で「魅力発見! 広大バードウォッチング」という展示を学生が主体となって企画立案、開催しました。私の研究は大まかに言うと「恐竜時代の環境を知る」というモチベーションの下、地質調査やその分析・観察をしています。もともと恐竜が好きで入学したので、好きなことに関連する研究ができるのが、私のエネルギー源です。今年は初めて海外での国際学会に参加する予定もあり、近いうちに博物館でも自分の研究について紹介できればうれしいですね。

愛用アイテム：岩石用ハンマー

石を割るだけでなく、邪魔になるクモの巣をはらったり、足場を作ったり、椅子になったり。野外調査や化石の調査などでは欠かせない10年来的相棒です。



がんばる学生の姿をお届け

HIRO-DAI HEROES



私の活動場所
福山通運小丸
賑わいパビリオン

川村 優佳さん

総合科学部 総合科学科(2020年3月卒業)

本気でやりたいことを考え、在学中に起業

楽しみながら簡単にスマホ依存を解消できるサービスを開発したい。そんな思いからアプリ「ねこたま」を開発しました。スマホを一定時間使わずにいることで、卵からキャラクターが産まれる育成ゲームです。「1st Penguin Club(起業部)」の先輩がコンテストに参加しているのを見て、私もプランを練り始めました。他のゲームとどう差別化するか、どうマネタイズするかという点に苦労しました。さまざまなコンテストでの受賞が励みになって4年生の6月に起業。受けられる支援が多く、自信にもつながりました。「学生のうちに遊んでおいた方がいい」という言葉に惑わされてはダメ。自分の意思を持って行動し、かなえたい未来に向けて活動することで、未来が変わってきます。

愛用アイテム：パソコン(Mac Book Air)

執筆活動やサービス開発に活用しています。

受賞歴▼「第23回HiBiSインターネットビジネスフォーラム2019」(学生の部)最優秀賞(中国総合通信局長賞)、ICTビジネス研究会キャンパス賞、fabbit賞 ▼「2019キャンパスベンチャーグランプリ中国」優秀賞 ▼「第26回ひろしまベンチャー助成金」ひろしまヤングベンチャー賞(金賞)



8

7

広大生の「衣」に迫る!

企画・取材

学生広報ディレクター 貴船 桃佳さん・塩 剛典さん・助永 百花さん



山本 舞風さん
(教育学部4年)



伊藤 友さん
(理学部3年)



教育学部 2年
野中 湧也さん

中村 倫奈さん
(総合科学部4年)



脇野 翔伍さん
(総合科学部4年)

制服で過ごす高校を卒業して、自由に服装を選べるようになった広大生。彼らに「衣」にまつわるアレコレを聞いてみました。

Q. 制服から私服になってどう感じた?

私服になっておしゃれの楽しさに気付きました!

私服で通学するようになり、「おしゃれの楽しさに目覚めた」という意見が多い一方で、「毎日コーディネートを考えるのは少し大変」「気温調整がしやすくなって便利」というコメントもありました。最初の頃は服装選びに苦戦しますが、慣れてくると楽しいですよ。(学生広報ディレクター)



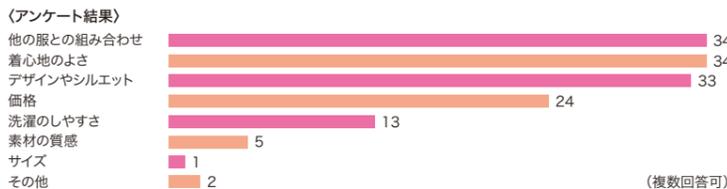
人と被らないものを選ぶのがこだわり。このジャンパーは古着屋で買いました!

理学部 3年
端野 桃子さん

Q. 大学でのファッションを選ぶ時に重視することは何?

値段、デザイン、素材を重視して選んでいます。

デザインだけでなく、着心地も重視するという人が半数以上! 予算も考慮しながら賢くおしゃれを楽しみましょう。また、下宿生は洗濯のしやすさも重要に。自分で洗濯するようになって初めて気を付けるポイントです。(学生広報ディレクター)



私服を選ぶのは楽しい! メイクや小物などトータルにコーディネートしています。

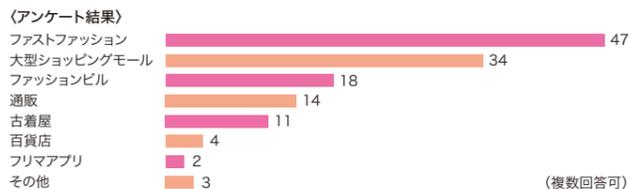


歯学部 4年
多和 実月さん

Q. 普段どこで服やかばんを買ってる?

ZOZOTOWNやメルカリなどの通販で購入することもあります。

大学生は使えるお金が限られているので、ファストファッションの店やショッピングモールで、手頃な価格で買い物をする人が多いようです。サークルや授業で忙しくてなかなか買い物に行く時間がないという人は、通販サイトをうまく使うのもお勧めです。(学生広報ディレクター)



服飾店でアルバイト中。社員割引価格で購入できるのがうれしいです。

教育学部 4年
住吉 菜奈さん



入学時はおしゃれに苦労しました。まーまー堂(服飾サークル)で自分の服を作ることも。

経済学部 4年
麻生 薫さん



右: 青山 優歌子さん
中: 山田 暁世さん
左: 山本 有希さん
(教育学部2年)



こんな声もありました

- ・キャンパスが広いので、歩きやすい靴が便利です!
- ・1人暮らしなのでおしゃれができていないか不安...
- ・盆地の東広島は春と秋が短いので、自分は夏服と冬服を多めに持っています
- ・ヘアアレンジでおしゃれの幅がもっと広がりますよ
- ・スポーツ系の部活なので、現役時代は週5でジャージを着てました!

アンケート期間: 2020年1月20日~1月31日
回答数: 65人 (広大生を対象にアンケート)

西川 朋宏さん
(総合科学部4年)



大学院工学研究科 2年
塘中 遼太さん



先進理工系科学研究科、 人間社会科学研究科が始動 看板除幕式を行いました

2020年4月1日、先進理工系科学研究科と人間社会科学研究科の二つの大学院研究科を開設し看板除幕式を行いました。2019年度開設の統合生命科学、医系科学の両研究科と合わせて、従来11あった研究科が4つに再編されました。分野の垣根を超えた連携・融合によるイノベーションの促進とともに、時代の変化や社会のニーズに対応できる柔軟性と専門性、幅広い視野を持った人材の輩出を目指します。



先進理工系科学研究科



人間社会科学研究科(東広島キャンパス)

代表のみによる学位記授与式を挙行、入学式典は中止

3月23日、令和元年度学位記授与式をサタケメモリアルホールで催し、越智学長が代表3人に学位記を授与しました。卒業・修了したのは学部生2,344人、専攻科生11人、大学院生1,316人。今回は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、各学部などで分散して学位記を授与。学長の式辞や学生代表への学位記授与の様子は録画で配信しました。一方、4月3日の入学式典は中止し、入学許可宣言および学長式辞などが録画配信されました。新たに学部生2,476人、専攻科生23人、大学院生1,348人を迎えました。



サタケメモリアルホールでの学位記授与式



入学生向けの式辞の収録に臨む越智学長

桜美林大学と包括協定を締結

1月17日、桜美林大学(学校法人桜美林学園、東京都町田市)と包括協定を締結しました。桜美林大学と広島大学は共に高等教育分野における研究が盛んです。今後、両大学は、学部(学群)・大学院の単位互換および学生の教育研究指導や国際交流事業、施設・設備・学術研究資料などの相互利用について、連携・協力します。



左から佐藤理事・副学長、越智学長、畑山桜美林大学学長、佐藤桜美林大学理事長・大学総長

広島大学クラウドファンディング開始

2019年11月、広島大学では「広島大学クラウドファンディング」を開始しました。2020年1月末には①土石流の被害を防ぐ実証実験プロジェクト、②シュタイナー教育による発達障がい児サポートの2件のプロジェクトが成立しました。今後も、クラウドファンディングを活用して寄附金を募り、教育・研究並びに社会貢献活動の更なる進展を地域社会全体で応援するための環境づくりを目指します。皆さまからのご支援をよろしくお願いいたします。



広島大学クラウドファンディング

地盤の動きを常時監視する 土石流センサーの検証実験を開始

2018年7月の西日本豪雨で土石流に襲われた広島県熊野町川角地区の渓流で、広島大学などが開発したワイヤレスの土石流センサーを用いたリアルタイム監視システムの検証実験が始まり、2020年2月19日、実験の様子が報道関係者に公開されました。この土石流センサーは、広島大学防災・減災研究センターと株式会社計測リサーチコンサルタント(広島市)が共同で開発。今後3年間検証を継続し、豪雨時の渓流における土砂の動きの計測・監視を行い、モニタリング結果を分かりやすく表示するなど早期避難に活用する技術の開発を進める計画です。



現場で説明を行う土田孝防災・減災研究センター長(左)

エジプト18大学73人の 医学生たちと交流 実習見学やダヴィンチ体験も

広島大学の協定先を含むエジプト18大学から73人の留学生が、2月3~7日と2月10~14日の2班に分かれて、霞キャンパスを訪れました。医学部では、講義や研究室訪問の他、解剖実習を見学。大学病院では、最新の手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作を交代で体験するなど、高度な医療技術に触れました。新型コロナウイルスに関する特別講義では、熱心な質問がありました。本学の学生や教職員との懇親会も行われ、日本とエジプトの交流を深めました。



ジンベエザメの口の中から 新種のヨコエビ発見

大学院人間社会科学研究所の富川光准教授は、沖縄美ら海水族館、トロムソ大学(ノルウェー)との共同研究によって、世界最大の魚類ジンベエザメの口の中から新種のヨコエビを発見しジンベエドロノミと命名しました。ジンベエザメに付着するヨコエビの発見は、世界で初めてです。ジンベエドロノミは寄生しているわけではなく、ジンベエザメの口腔内が生息場所として快適だったのではないかと考えられます。今後、ジンベエドロノミの生態や分布、遺伝構造などを明らかにすることで、ヨコエビをはじめとする小型無脊椎動物の生活場所の進化の謎の一端が明らかにできると考えます。



新種のヨコエビ「ジンベエドロノミ」

先端物質科学研究科の 山根悠さんが 「日本学術振興会育志賞」を受賞

大学院先端物質科学研究科博士課程後期の山根悠さん(2019年度修了)が「第10回(令和元(2019)年度)日本学術振興会育志賞」を受賞しました。授賞対象となった山根さんの研究課題は「Pr希薄系における単サイトの非フェルミ液体的挙動」。大学長または学術団体の長から推薦のあった175人の大学院博士課程学生の中から、今年度は18人が受賞。広島大学では、今回が3人目の受賞となります。



元オリンピック柔道エジプト代表 モハメド・ラシュワンさん 越智学長に感謝の表敬訪問

エジプトの柔道家で1984年ロサンゼルス五輪銀メダリストのモハメド・ラシュワンさんが1月21日、越智学長を表敬訪問し感謝の言葉を伝えました。長年の競技生活で膝を痛めていたラシュワンさんは、2019年4月に越智学長がエジプトを訪問した際に診察を受けました。膝関節外科の第一人者である越智学長は、愛知医科大学病院に勤務する、広島大学出身の出家正隆教授を紹介。同年12月に出家教授の手術を受けたラシュワンさんは、杖を使いながらも歩けるようになるまでに回復しました。ラシュワンさんはロサンゼルス五輪の柔道男子無差別級決勝で、山下泰裕氏(現JOC会長)と対戦。試合には敗れたものの、表彰台に上がる山下氏に手を差し伸べた姿が世界から称賛され、国際フェアプレー賞に選ばれました。



カイロ大学で使った白衣姿の越智学長と握手。(一番右は、次男のアムルさん)

国際協力研究科の石川太陽さんが 日本代表でストックホルム国際青年科学セミナーに参加

大学院国際協力研究科博士課程前期の石川太陽さん(2019年度修了)が、2019年12月、スウェーデンで開催されたストックホルム国際青年科学セミナーに参加しました。このセミナーは、ノーベル財団の協力で、スウェーデン青年科学者連盟がノーベル賞週間に合わせて毎年開催するもの。世界各国から集まった代表学生が、ノーベル賞授賞式祝宴に参加するほか、研究発表やディベートなどを通じて国際交流を行います。日本からは、公益財団法人国際科学技術財団が毎年2人の代表学生を派遣しており、今回は石川さんの他に、東京大学の大学院生が参加しました。



吉野彰先生(2019年ノーベル化学賞受賞)と石川さん(右)

広島大学は 全面禁煙です

本学へお越しの皆さまには、ご理解とご協力をお願いいたします。



つながる! ひろがる! ひろしまの輪



広島大学と地域の皆さんの間につながりが生まれ、広がる中で、新たな発見がきっとあるはず。
「ひろしまの輪」では、地域の皆さんと広島大学と一緒に取り組む活動や
さまざまなイベント情報をお届けします。

病気を超早期に発見できる検査を全ての人に

大学院医系科学研究科 田原 栄俊 研究室×株式会社ミルテル



人は自分では健康だと思っても、細胞や遺伝子に異変が起こり、気付いた時には手遅れになることがあります。田原栄俊教授の研究室は広島大学病院と共同で、がんや認知症を早期発見する血液検査を開発。検査には、血液中のマイクロRNAと呼ばれる遺伝子を解析・測定する技術を用います。「解析コストは年々減少していますが、まだ誰もが簡単に受けられるレベルではありません」と語る田原教授。ベンチャー企業の株式会社ミルテルを設立し、一般の人が受けやすい検査の仕組みづくりにも取り組んでいます。2020年3月にはチューリッヒ保険会社が、ミルテル検査※「ミアテスト」が付いた乳がん保険商品の認可を受けました。この商品は、入院費用や一時金が受け取れる従来の乳がん保険と、乳がんのリスクを早期発見できる検査をセットにしたもの。手遅れになる前に受診を促せるほか、早期発見による医療費削減への貢献も期待されています。

Information

詳細・連絡先などはホームページからご確認ください。
※ミルテル検査は、病気を発症する前の未病リスクが分かる「テロミアテスト」と、がんや認知症の超早期発見が可能な「ミアテスト」の2種類。ミルテルが契約している医療機関でのみ検査を受けられます。

<https://www.mirtel.co.jp/>

キャンパス丸ごと博物館!実物がいざなう知的好奇心

広島大学総合博物館

総合博物館は、「本館」と5つの「サテライト館」、それらをつなぐ散策道「発見の小径」で構成。広島大学ならではの「キャンパス丸ごと博物館」です。「インド」のような壮大なテーマから「魚」「鳥」など身近なテーマまで、さまざまな展示やイベントを行っています。本館は2006年にオープンし、来館者は14万人を達成。「博物館は“実物”を展示する場所。写真などでは分からない、“実物”を見て初めて分かる魅力をお伝えしています」と語るのは学芸職員の佐藤大規さん。「化石の実物を見て想像が膨らんだ」「子どもも大人も楽しめる、もっと聞きたくなる解説」と来館者からは好評です。自然を直接体験する「ネイチャーゲーム」や、桜やドングリの観察をしながら緑豊かな東広島キャンパス内を歩くフィールドナビは年に4回程度開催。家族連れが多く参加する人気のイベントです。今後も皆さんの興味・関心の新しい扉を開くお手伝いができるような企画・イベントを実施していきます。



Information

本館開館時間: 10:00-17:00(入館は16:30まで)
本館休館日: 日曜、月曜、祝日、お盆、年末・年始(12月28日から1月4日)
※その他、臨時休館となる場合がございます。ホームページ等で確認ください。

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/museum/>

Reader's View

HU photos Instagramで#広島大学の付いた投稿からお届けします。



2020.2.22
#農業サークル #田口むし #農業 #西条
投稿者:広島大学農業サークル〜田口むし〜さん



2020.2.25
#KOBÉ #神戸 #中突堤 #練習船 #豊潮丸 #呉 #夜景
投稿者:Cooper!さん

HU photos

広島大学にまつわる写真を#広島大学をつけてInstagramに投稿してください。学生生活のワンシーンや何気ない風景など、テーマは何でもOK!素敵な写真をお待ちしています。

投稿
募集中!

HU ism

広島大学にまつわるちょっとした逸話やエピソードをアンケートにて募集します。あの頃の懐かしい思い出話や誰かに教えたいくなる広島大学の秘密を教えてください。

投稿はこちら



投稿が掲載された方には
広大オフィシャルトートバッグを
プレゼント!



WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。いただいたアンケート内容は、今後の誌面づくりに活用させていただきます。

WEBアンケートはこちら



HU-plus 検索

読者プレゼント アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計9名様にプレゼント!!
※応募締切: 2020年7月31日必着 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表とさせていただきます。

- A 賀茂泉酒造×広島大学
日本酒「広大(ひろだい)」純米大吟醸 720ml
- B 広島東洋カープ×広島大学
フェイスタオル&ボールペン セット
- C 広島大学マスコットキャラクター「ひろティー」
クリアファイル 2枚セット



1名様



3名様



5名様

ご応募は、満20歳以上の方に限らせていただきます。

広島銘菓
せとこもち
広島大学・尾道市と
弊社にしき堂が
共同開発した
広島銘菓「せとこもち」を
ご賞味ください。

にしき堂 本店/広島市東区光町1丁目13-23 ☎(082)262-3131(代)
https://www.nishikido.co.jp Eメール:info@nishikido.net
TEL ☎0120-979-161(8:00-18:00) FAX ☎0120-963-161

広島お好み焼、焼きませんか。
お好み焼体験スタジオ!
オコスタ
本格的な鉄板でお好み焼づくりを体験!
家族や友人と思い出の1枚を。
JR広島駅直結だから便利!

otafuku
予約など詳細はWEBをチェック!
オコスタ

Balcom Group
http://www.balcom.jp

Motorradd Balcom MINI
BalcomBMW Harley-Davidson

広島大学への寄附にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

広島大学基金 ※広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金 (広島大学75+75周年に向けて)を含む

●高額のご寄附をいただいた方

●個人 10億円以上 法人 20億円以上

佐竹 利子 様
「特別荣誉学賞」

●個人 5000万円以上 法人 1億円以上

公益財団法人
広島大学教育研究支援財団
理事長
佐竹 利子 様

一般財団法人
緑風会 様
「学賞」

財団法人渋谷育英会
理事長
小丸 法之 様
「学賞」

矢野 博文 様
「学賞」

●個人 1000万円以上 法人 2000万円以上

畫馬 輝夫 様
「名誉校友」

特定医療法人あかね会
理事長
土谷 晋一郎 様
「名誉校友」

医療法人社団浜中皮ふ科クリニック
理事長
浜中 和子 様
「名誉校友」

小野 光代 様
「名誉校友」

児玉 治 様
「名誉校友」

越智 光夫 様
「名誉校友」

田中 隆荘 様
「名誉校友」

●個人 500万円以上 法人 1000万円以上

医療法人社団まりも会
ヒロシマ平松病院
理事長
平松 廣夫 様
「名誉校友」

医療法人社団仁慈会
理事長
安田 克樹 様
「名誉校友」

医療法人社団玄同会
理事長
小島 敬太郎 様
「名誉校友」

医療法人せのかわ
理事長
津久江 一郎 様
「名誉校友」

医療法人
多布施クリニック
理事長
諸隈 啓子 様
「名誉校友」

●個人 100万円以上 法人 100万円以上

医療法人社団みめぐみ会
サンククリニック
理事長
中村 雄二 様
「特別校友」

医療法人恒和会松石病院
理事長
松石 頼明 様
「特別校友」

オタフクソース株式会社
代表取締役社長
佐々木 直義 様
「特別校友」

医療法人社団楓会
林病院
理事長
林 淳二 様
「特別校友」

株式会社バルコム
代表取締役
山坂 哲郎 様
「特別校友」

医療法人辰川会
理事長
辰川 自光 様
「特別校友」

医療法人社団知仁会
理事長
石井 知行 様
「特別校友」

医療法人おち眼科医院
理事長
越智 温子 様
「特別校友」

株式会社ダイクレ
代表取締役社長
山本 浩 様
「特別校友」

医療法人社団井野口病院
会長
井野口 千秋 様
「特別校友」

医療法人社団梶山小児科
理事長
梶山 泰正 様
「特別校友」

医療法人社団陽正会
寺岡記念病院
理事長
寺岡 暉 様
「特別校友」

医療法人微風会
ビハーフの里病院
会長
和泉 一子 様
「特別校友」

株式会社シンコー
代表取締役社長
簡井 幹治 様
「特別校友」

Micron Technology
Foundation, Inc. 様
「特別校友」

医療法人社団スマイル
博愛クリニック
理事長
高杉 啓一郎 様
「特別校友」

医療法人社団マッキー
理事長
永井 賢一 様
「特別校友」

医療法人社団清流会
理事長
坂下 勝 様
「特別校友」

大正富山医薬品株式会社
代表取締役社長
藤田 憲一 様
「特別校友」

医療法人S.R.C.
中光整形外科
リハビリクリニック
院長
中光 清志 様
「特別校友」

医療法人せいざん
青山病院
院長
大村 泰 様
「特別校友」

医療法人ピーアイエー
理事長
中村 英雄 様
「特別校友」

医療法人KOC
金谷整形外科クリニック
理事長
金谷 篤 様
「特別校友」

医療法人明笑会
理事長
安本 正徳 様
「特別校友」

株式会社総合広告社
代表取締役副会長
坪井 高義 様
「特別校友」

医療法人清泉会
一ノ瀬病院 様
「特別校友」

医療法人エム・エム会
理事長
白川 泰山 様
「特別校友」

医療法人サカもみの木会
理事長
坂 信一 様
「特別校友」

医療法人たんぼぼ会
理事長
大嶋 俊一 様
「特別校友」

医療法人社団伯瑛会
理事長
金田 瑛司 様
「特別校友」

株式会社桐原容器工業所
代表取締役
桐原 真一郎 様
「特別校友」

株式会社中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「特別校友」

株式会社内藤建築事務所
代表取締役
川本 雄三 様
「特別校友」

株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
「特別校友」

神谷 研二 様
「特別校友」

北村 拓也 様
「特別校友」

協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
「特別校友」

小池 透 様
「特別校友」

高祖 讓 様
「特別校友」

佐藤 裕子 様
「特別校友」

重山 俊彦 様
「特別校友」

株式会社立芝
代表取締役
向井 恒雄 様
「特別校友」

株式会社社
代表取締役
鈴木 孝尚 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
住田 忠幸 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
高田 隆 様
「特別校友」

常石造船株式会社
代表取締役
寺本 康俊 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
天道 俊孝 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
土肥 博雄 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
野上 智行 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
早川 武敏 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
平田 敏夫 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
田島 文治 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
尾道総合病院 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
広島日野自動車株式会社
代表取締役社長
上野 孝史 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
藤本 吉範 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
復建調査設計株式会社 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
松村 誠 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
道中 美敏 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
宮谷 真人 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
村上 恒二 様
「特別校友」

八幡浜市役所 様
「特別校友」

山田 道夫 様
「特別校友」

有限会社宇恵多
代表取締役
上田 邦恵 様
「特別校友」

横崎 恭之 様
「特別校友」

吉田 総仁 様
「特別校友」

●2019年10月から2020年1月までにご寄附をいただいた方

●100万円以上

株式会社人社グループ
代表取締役
福井 滋 様
「名誉校友」

原田 康夫 様
「特別校友」

医療法人清泉会
一ノ瀬病院 様
「特別校友」

医療法人たんぼぼ会
理事長
大嶋 俊一 様
「特別校友」

●10万円以上100万円未満

医療法人社団おると会
浜脇整形外科病院
理事長
浜脇 澄伊 様
「特別校友」

向笠 富夫 様
「特別校友」

三嶋 弘 様
「名誉校友」

三枝 省三 様
「特別校友」

医療法人社団仁慈会
理事長
安田 克樹 様
「名誉校友」

三嶋 弘 様
「名誉校友」

三枝 省三 様
「特別校友」

医療法人翠清会
翠清会靱川病院
会長
梶川 博 様
「特別校友」

谷 友博 様
「特別校友」

岡田 理代 様
「特別校友」

青木 義和 様
「特別校友」

桂 明子 様
「特別校友」

広島ハザマOB会有志
第13回HCD
懇親会出席者有志
荒木 政裕 様
「特別校友」

真鍋 英喜 様
「特別校友」

岡田 理代 様
「特別校友」

徳永 秀 様
「特別校友」

井原 俊彦 様
「特別校友」

木本 泉 様
「特別校友」

飯島 俊莊 様
「特別校友」

中島 千恵 様
「特別校友」

大地 晴子 様
「特別校友」

後藤 剛久 様
「特別校友」

下西 未淑 様
「特別校友」

仲野 浩治 様
「特別校友」

木下 良子 様
「特別校友」

竹下 義昭 様
「特別校友」

石井 光一 様
「特別校友」

新畑 茂秀 様
「特別校友」

倉本 剛介 様
「特別校友」

中野 法子 様
「特別校友」

伊藤 祐二 様
「特別校友」

西分 翔太 様
「特別校友」

中国電力フェニックス会
林 文子 様
「特別校友」

中野 法子 様
「特別校友」

稲田 修三 様
「特別校友」

長谷川 公一 様
「特別校友」

福田 和政 様
「特別校友」

林 志郎 様
「特別校友」

福田 節子 様
「特別校友」

原田 寿江 様
「特別校友」

株式会社
代表取締役
松本 浩一 様
「特別校友」

八島 正明 様
「特別校友」

植田 幸男 様
「特別校友」

木田 徳司 様
「特別校友」

医療法人社団丸もも会
理事長
平松 廣夫 様
「名誉校友」

和田 章 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人おち眼科医院
理事長
白川 泰山 様
「特別校友」

和田 章 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人KOC
金谷整形外科クリニック
理事長
金谷 篤 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人社団楓会
林病院
理事長
林 淳二 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人社団仁慈会
理事長
安田 克樹 様
「名誉校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人社団スマイル
博愛クリニック
理事長
高杉 啓一郎 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人社団マッキー
理事長
松本 啓 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人社団清流会
理事長
大谷 美奈子 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人社団マッキー
理事長
松本 啓 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人社団清流会
理事長
坂下 勝 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

大正富山医薬品株式会社
代表取締役社長
藤田 憲一 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人社団丸もも会
理事長
平松 廣夫 様
「名誉校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

医療法人社団丸もも会
理事長
平松 廣夫 様
「名誉校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

丸田 考志 様
「特別校友」

冠事業基金

(2020年1月現在)

2015年度から新たに、寄附をいただいた方のご芳名などを冠して、寄附者様のご厚意が見える形にした「広島大学冠事業基金」を創設しました。寄附方法は、一口5万円の毎月の継続寄附で、当面は外国人留学生への奨学金と日本人学生への海外留学資金に活用します。

<p>医療法人S.R.C. 中光整形外科リハビリクリニック 院長 中光 清志 様 「特別校友」</p> <p>医療法人エム・エム会 理事長 白川 泰山 様 「特別校友」</p> <p>医療法人おち眼科医院 理事長 越智 温子 様 「特別校友」</p> <p>医療法人KOC 金谷整形外科クリニック 理事長 金谷 篤 様 「特別校友」</p> <p>医療法人社団楓会 林病院 理事長 林 淳二 様 「特別校友」</p>	<p>医療法人社団仁慈会 理事長 大杉 健 様 「特別校友」</p> <p>医療法人社団仁慈会 理事長 安田 克樹 様 「名誉校友」</p> <p>医療法人社団スマイル 博愛クリニック 理事長 高杉 啓一郎 様 「特別校友」</p> <p>医療法人社団清流会 理事長 永井 賢一 様 「特別校友」</p> <p>医療法人社団マッキー 理事長 松本 啓 様 「特別校友」</p>	<p>医療法人社団まりも会 理事長 平松 廣夫 様 「名誉校友」</p> <p>医療法人昭和 原田整形外科病院 理事長 原田 昭 様 「特別校友」</p> <p>医療法人せいざん 青山病院 院長 大村 泰 様 「特別校友」</p> <p>医療法人明笑会 理事長 安本 正徳 様 「特別校友」</p> <p>大谷 美奈子 様 「特別校友」</p>	<p>オタフクソース株式会社 代表取締役社長 佐々木 直義 様 「特別校友」</p> <p>越智 光夫 様 「名誉校友」</p> <p>株式会社紀陽 代表取締役社長 寒川 起佳 様 「特別校友」</p> <p>株式会社総合広告社 代表取締役副会長 坪井 高義 様 「特別校友」</p> <p>株式会社ダイクレ 代表取締役社長 山本 浩 様 「特別校友」</p> <p>株式会社にしき堂 代表取締役 大谷 博国 様 「特別校友」</p>	<p>株式会社日本クライメイトシステムズ 代表取締役社長 松尾 則宏 様 「特別校友」</p> <p>株式会社バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「特別校友」</p> <p>株式会社やまだ屋 代表取締役 中村 靖富満 様 「特別校友」</p> <p>坂下 勝 様 「特別校友」</p> <p>佐藤 利行 様 「特別校友」</p> <p>戸田工業株式会社 取締役社長 實来 茂 様 「特別校友」</p> <p>弁護士 緒方 俊平 様</p>
--	--	--	---	--

ご芳名は、公開についてご承諾いただいた方を掲載させていただいています。掲載している情報は、ご寄附当時のものです。

●ご支援いただいた学生から

若松 寿衣さん
生物生産学部 4年



AIMS (ASEAN International Mobility for Students Program) プログラムへ参加。
留学先: タイ・カセサート大学
留学期間: 2019年8月から12月

思っていること、考えていることをとにかく発信する

2年生の時に短期留学を経験し、次のステップとして、今回、長期留学に挑戦しました。AIMSプログラムは、奨学金があり、留学のための負担が少ないことが魅力的でした。大学からの手厚いサポートを受け、安心して留学することができました。渡航前に、カセサート大学の先生による授業を受け、予備知識を身に付けることができましたが、現地での英語による授業は大変でした。予習・復習は欠かさず行い、時には身振り手振りも交えコミュニケーションを取りました。

留学先での私の研究テーマは「ハラール食材」でした。タイでは、マレーシア、インドネシアとの交流も多く、ハラール食が広く普及しています。日本での普及の状況と比較すると、興味深いです。寮生活でも、イスラム教徒の学生が多かったため、一緒に食事を作りながら、ハラールについての理解がより深まったように思います。

留学生活の中で一番印象的だったのは、ある友人から言われた言葉です。文法に縛られて、なかなか会話が進まなかった私に「ここでは文法なんて気にしないでいい。あなたが何を考えているか、何を感じているのかを知りたい」と。この時から、英語での